

平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月27日

上場会社名 株式会社FPG 上場取引所 東
 コード番号 7148 URL http://www.fpg.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 谷村 尚永
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 久保出 健二 TEL 03-5288-5691
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	11,028	△9.1	6,550	△20.7	6,262	△26.0	4,355	△25.5
29年9月期第2四半期	12,136	14.5	8,262	16.3	8,464	18.7	5,843	28.6

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 4,300百万円 (△28.0%) 29年9月期第2四半期 5,972百万円 (32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	48.33	48.22
29年9月期第2四半期	64.96	64.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	74,871	25,904	32.9
29年9月期	82,799	25,624	29.5

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 24,656百万円 29年9月期 24,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	45.80	45.80
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	49.25	49.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,701	12.5	14,753	10.0	14,928	8.9	10,313	7.6	114.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	92,373,600株	29年9月期	94,623,600株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	2,184,912株	29年9月期	4,506,692株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	90,121,641株	29年9月期2Q	89,954,908株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料の目次】

平成30年9月期 第2四半期 決算概要	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報	3
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	12
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	12
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	16
(セグメント情報)	17

平成30年9月期 第2四半期 決算概要

損益の状況

- タックス・リース・アレンジメント事業について、リース事業組成金額は第2四半期連結累計期間として過去最高の2,030億円となりました。また、投資家からの出資金に対する需要が引き続き強く推移する中、出資金販売額も第2四半期連結累計期間として過去最高の761億円となりました。売上高は、大口のフルエクイティ案件を販売したことから手数料率が低下したこともあり、96億円となりました。またその他事業について、不動産関連事業及び保険仲立人事業が成長したこともあり、売上高は13億円となりました。
- 連結売上高は110億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億円となりました。当第2四半期連結累計期間の業績は、予想を上回る水準となりましたが、現時点では、平成29年10月31日に公表いたしました、平成30年9月期連結会計年度の業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	平成29年9月期 第2四半期	平成30年9月期 第2四半期	増減額	(予想) 平成30年9月期 連結会計年度
売上高	12,136	11,028	△1,108	23,701
タックス・リース・ アレンジメント事業	11,085	9,649	△1,436	20,726
その他	1,050	1,378	328	2,974
営業利益	8,262	6,550	△1,712	14,753
経常利益	8,464	6,262	△2,201	14,928
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5,843	4,355	△1,488	10,313
一株当たり 四半期(当期)純利益	64円96銭	48円33銭	—	114円40銭
リース事業組成金額	105,441	203,001	97,559	387,468
出資金販売額	71,540	76,116	4,576	157,228

財政状態の状況

(単位：百万円)

	平成29年 9月末	平成30年 3月末	増減額
資産合計	82,799	74,871	△7,927
流動資産	79,213	71,162	△8,051
(現金及び預金)	12,602	14,331	1,728
(組成資産)	62,141	49,269	△12,871
(その他)	4,470	7,561	3,091
固定資産	3,585	3,709	124
負債合計	57,174	48,966	△8,207
流動負債	48,344	38,959	△9,384
(借入金・社債)	37,268	25,873	△11,394
(前受金)	3,831	4,199	368
(その他)	7,244	8,886	1,641
固定負債	8,830	10,006	1,176
純資産合計	25,624	25,904	280

資産合計

現金及び預金は143億円となりました。

積極的に組成を行った一方で、販売を進めたことから、組成資産は492億円となりました。このうち、商品出資金が223億円、航空機リース事業に係る信託受益権を計上する金銭の信託(組成用航空機)が170億円、組成用不動産が80億円となりました。

流動資産に含まれるその他の資産の合計が、75億円となりました。

負債合計

返済を進めたことから、流動負債の借入金・社債が、258億円となりました。

前受金は41億円となりました。流動負債に含まれるその他の負債の合計が、88億円となりました。

純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、前期末配当を実施したこと等から、純資産が259億円となりました。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第2四半期	平成29年9月期 第2四半期	平成30年9月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	10,598	12,136	11,028	△1,108	△9.1%
売上原価	1,301	1,469	1,668	199	13.6%
販売費及び一般管理費	2,192	2,403	2,809	405	16.9%
営業利益	7,104	8,262	6,550	△1,712	△20.7%
営業外収益	519	682	614	△68	△10.0%
営業外費用	495	481	902	421	87.6%
経常利益	7,128	8,464	6,262	△2,201	△26.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,542	5,843	4,355	△1,488	△25.5%

リース事業組成金額	181,999	105,441	203,001	97,559	92.5%
出資金販売額	56,580	71,540	76,116	4,576	6.4%

(注) 本項目における用語の説明

リース事業組成金額	組成したオペレーティング・リース事業案件のリース物件の取得価額の合計額
出資金販売額	出資金（オペレーティング・リース事業の匿名組合出資持分及び任意組合出資持分）について、リース開始日までに投資家へ私募により販売した額及びリース開始日時時点で当社が一旦立替取得し、（連結）貸借対照表の「商品出資金」に計上したものについて、投資家へ譲渡により販売した額の合計額であります。なお航空機リース事業に係る信託受益権譲渡価額を含めております。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、アメリカの着実な景気の回復、アジア地域での景気の持ち直し及びヨーロッパ圏での緩やかな景気の回復等の動きが継続しました。一方、日本経済についても、個人消費の緩やかな持ち直し、企業収益の改善、輸出並びに設備投資の持ち直し等、緩やかな回復基調が継続しました。このような状況のもと、当社グループは、不動産関連事業、保険仲立人事業、M&Aアドバイザー事業の体制の強化等、中期経営計画に従い、各種施策の実施に努めました。

売上高

(単位：百万円)

	平成29年9月期 第2四半期	平成30年9月期 第2四半期	増減額
売上高	12,136	11,028	△1,108
タックス・リース・ アレンジメント事業	11,085	9,649	△1,436
その他	1,050	1,378	328

売上高は、11,028百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

(タックス・リース・アレンジメント事業)

リース事業組成金額は、積極的に組成を進めた結果、前年同期に比べ大幅に増加し、第2四半期連結累計期間として過去最高の203,001百万円（前年同期比92.5%増）となりました。また、投資家からの出資金に対する需要が強く推移する中、出資金販売額も、第2四半期連結累

計期間として過去最高の76,116百万円（前年同期比6.4%増）となりました。売上高は、大口のフルエクイティ案件を販売したことから手数料率が低下したこともあり、9,649百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

(その他事業)

売上高は、不動産関連事業及び保険仲立人事業が成長したこともあり、1,378百万円（前年同期比31.3%増）となりました。このうち、不動産関連事業の売上高は、414百万円（前年同期比36.1%増）、保険仲立人事業の売上高は、478百万円（前年同期比57.4%増）、M&Aアドバイザー事業の売上高は、12百万円（前年同期比68.4%減）、FPG Amentum Limitedが行う航空機投資管理サービス事業の売上高は、261百万円（前年同期比6.2%減）、証券事業の売上高は、102百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

売上原価

売上原価は、1,668百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

これは主に顧客紹介に係る手数料について、その総額が増加したことによるものであります。

販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	平成29年9月期 第2四半期	平成30年9月期 第2四半期	増減額
販売費及び一般管理費	2,403	2,809	405
人件費	1,220	1,465	245
その他	1,183	1,343	160

販売費及び一般管理費は、2,809百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

これは主に業容拡大等により、人件費が1,465百万円（前年同期比20.1%増）、その他の費用が1,343百万円（前年同期比13.5%増）となったことによるものであります。

(注) 人件費には、給料手当、賞与（引当金繰入額含む）、法定福利費、福利厚生費、退職給付費用、人材採用費等を含めております。

営業利益

上記の結果、営業利益は、6,550百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

営業外収益／営業外費用

(単位：百万円)

	平成29年9月期 第2四半期	平成30年9月期 第2四半期	増減額
営業外収益	682	614	△68
受取利息	392	158	△233
持分法投資利益	211	171	△40
その他	78	284	206
営業外費用	481	902	421
支払利息	137	346	209
支払手数料	338	364	26
その他	5	191	186

営業外収益は、614百万円（前年同期比10.0%減）となりました。これは主に、投資家から收受している商品出資金の立替利息が減少した結果、受取利息が158百万円（前年同期比59.6%減）、関連会社に関する持分法による投資利益が171百万円（前年同期比19.0%減）、組成用不動産に係る賃貸料が165百万円（前年同期比501.9%増）となったことによるものであります。

営業外費用は、902百万円（前年同期比87.6%増）となりました。これは主に、支払利息が346百万円（前年同期比152.2%増）となったこと、また支払手数料が364百万円（前年同期比7.7%増）、為替差損が150百万円（前年同期は35百万円の為替差益）となったことによるものであります。

経常利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

上記の結果、経常利益は、6,262百万円（前年同期比26.0%減）、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,355百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

セグメント別業績

セグメント別業績の概況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント	平成29年9月期 第2四半期		平成30年9月期 第2四半期	
	売上高	セグメント利益 またはセグメント 損失 (△)	売上高	セグメント利益 またはセグメント 損失 (△)
F P G	11,532	8,500	9,998	5,950
F P G証券	118	△24	102	△46
その他	667	106	1,052	320
調整額	△181	△118	△125	37
合計	12,136	8,464	11,028	6,262

- (注) 1. 各セグメントの売上高及びセグメント利益またはセグメント損失は、セグメント間取引の消去前の金額を記載しております。
 2. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
 3. 調整額はセグメント間取引消去額であります。

(F P Gセグメント)

タックス・リース・アレンジメント事業の売上高が減少したこともあり、売上高は9,998百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益は5,950百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

(F P G証券セグメント)

売上高は102百万円（前年同期比13.2%減）、セグメント損失は46百万円（前年同期比88.5%増）となりました。

(その他)

FPG Amentum Limitedの売上高のうち、タックス・リース・アレンジメント事業の売上高が拡大していることもあり、売上高は1,052百万円（前年同期比57.7%増）、セグメント利益は320百万円（前年同期比200.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	平成29年 9月末	平成30年 3月末	増減額
資産合計	82,799	74,871	△7,927
流動資産	79,213	71,162	△8,051
（現金及び預金）	12,602	14,331	1,728
（組成資産）	62,141	49,269	△12,871
（その他）	4,470	7,561	3,091
固定資産	3,585	3,709	124
負債合計	57,174	48,966	△8,207
流動負債	48,344	38,959	△9,384
（借入金・社債）	37,268	25,873	△11,394
（前受金）	3,831	4,199	368
（その他）	7,244	8,886	1,641
固定負債	8,830	10,006	1,176
純資産合計	25,624	25,904	280

(注) 1 組成資産には、商品出資金・金銭の信託（組成用航空機）・組成用コンテナ・組成用不動産を計上しております。

2 流動負債の（借入金・社債）には、コマーシャル・ペーパーを含めております。

資産の状況

資産合計は、74,871百万円（前年度末比7,927百万円の減少）となりました。その概要は以下のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、71,162百万円（前年度末比8,051百万円の減少）となりました。

- ・現金及び預金は、14,331百万円（前年度末比1,728百万円の増加）となりました。
- ・組成資産は、49,269百万円（前年度末比12,871百万円の減少）となりました。このうち、未販売の匿名組合出資金を計上する商品出資金は、その販売を進める一方で、積極的に組

成を行ったことにより、22,309百万円(前年度末比3,277百万円の増加)となりました。航空機リース事業に係る未販売の信託受益権を計上する金銭の信託(組成用航空機)は、その販売が進んだため、17,083百万円(前年度末比14,265百万円の減少)となりました。また不動産小口化商品として販売するための不動産を計上する組成用不動産は、新規商品用の不動産を取得した一方で、不動産小口化商品の販売を進めたことにより、8,009百万円(前年度末比1,744百万円の減少)となりました。

- ・上記以外の流動資産は、7,561百万円(前年度末比3,091百万円の増加)となりました。

(注)当社が組成する信託機能を活用した航空機リース事業案件は、当該リース事業を遂行する特定金外信託契約に係る受益権を投資家に譲渡するものであり、当社は、この法実態を鑑み、未販売の当該受益権相当額を「金銭の信託(組成用航空機)」に計上しております。当該信託契約は、当社が信託の受託者である株式会社F P G信託に金銭を信託し、同社が当初委託者である当社の指図に基づき、当該金銭をもって航空機を購入したうえで、航空会社にリース・市場売却等を行うものであります。信託受益権を、投資家に譲渡することで、委託者の地位が承継されると共に、信託財産から生じる譲渡後の損益が投資家に帰属いたします。

(固定資産)

固定資産は、3,709百万円(前年度末比124百万円の増加)となりました。

- ・有形固定資産は、381百万円(前年度末比21百万円の増加)となりました。
- ・無形固定資産は、1,525百万円(前年度末比115百万円の減少)となりました。
- ・投資その他の資産は、1,802百万円(前年度末比217百万円の増加)となりました。

負債の状況

負債合計は、48,966百万円(前年度末比8,207百万円の減少)となりました。その概要は以下のとおりであります。

(流動負債)

流動負債は、38,959百万円(前年度末比9,384百万円の減少)となりました。

- ・借入金・社債は、25,873百万円(前年度末比11,394百万円の減少)となりました。これは主に組成資産の取得のための借入金の返済を進めたためであります。
- ・第3四半期以降に販売予定の出資金に係る手数料を含む前受金は、4,199百万円(前年度末比368百万円の増加)となりました。
- ・上記以外の流動負債につきまして、8,886百万円(前年度末比1,641百万円の増加)となりました。
- ・機動的な資金調達が可能となるコミットメントライン契約及び当座貸越契約の総額は、当第2四半期連結会計期間末で、111,407百万円(前年度末比5,134百万円の増加)となりました。

(固定負債)

固定負債は、10,006百万円(前年度末比1,176百万円の増加)となりました。これは主に、借入金・社債が9,769百万円(前年度末比1,184百万円の増加)となったことによるものであります。

純資産の状況

純資産合計は、25,904百万円（前年度末比280百万円の増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4,355百万円を計上した一方で、前年度の期末配当4,127百万円を実施したことによるものであります。

自己資本比率は、当第2四半期連結会計期間末時点で32.9%（前連結会計年度末は29.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、当第2四半期連結累計期間期首に比べて1,728百万円増加し、14,331百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

金銭の信託（組成用航空機）の販売が進んだこと等から、営業活動から得られた資金は16,163百万円（前年同期は、25,061百万円の資金収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動において使用した資金は212百万円（前年同期は48百万円の資金収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

借入金の返済が進んだこと等から、財務活動において使用した資金は13,918百万円（前年同期は12,332百万円の資金支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、予想を上回る水準となりましたが、現時点では、平成29年10月31日に公表いたしました、平成30年9月期連結会計年度の業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	平成30年9月期 (実績)	平成30年9月期 (予想)	
	第2四半期 連結累計期間	連結会計年度	
	平成29年10月1日～ 平成30年3月31日	平成29年10月1日～ 平成30年9月30日	前年度比
売上高	11,028	23,701	12.5%
タックス・リース・ アレンジメント事業	9,649	20,726	9.3%
その他	1,378	2,974	41.4%
営業利益	6,550	14,753	10.0%
経常利益	6,262	14,928	8.9%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	4,355	10,313	7.6%
リース事業組成金額	203,001	387,468	40.3%
出資金販売額	76,116	157,228	35.8%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,602,763	14,331,291
売掛金	408,359	531,527
貯蔵品	11,268	9,494
商品出資金	19,031,725	22,309,482
金銭の信託（組成用航空機）	31,349,396	17,083,744
組成用コンテナ	2,006,264	1,866,825
組成用不動産	9,753,618	8,009,417
繰延税金資産	506,562	1,269,661
差入保証金	1,345,321	2,181,876
その他	2,198,498	3,568,879
流動資産合計	79,213,778	71,162,200
固定資産		
有形固定資産	359,584	381,124
無形固定資産		
のれん	1,539,985	1,432,013
その他	100,969	93,795
無形固定資産合計	1,640,954	1,525,808
投資その他の資産		
繰延税金資産	32,819	3,764
その他	1,551,907	1,798,742
投資その他の資産合計	1,584,727	1,802,506
固定資産合計	3,585,267	3,709,439
資産合計	82,799,045	74,871,640
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,186,073	419,356
短期借入金	32,920,532	19,635,383
コマーシャル・ペーパー	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	4,047,492	4,938,312
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	1,534,573	2,743,647
前受金	3,831,048	4,199,359
賞与引当金	312,660	210,501
受入保証金	2,063,813	2,605,718
その他	2,147,806	2,907,648
流動負債合計	48,344,000	38,959,927
固定負債		
社債	550,000	400,000
長期借入金	8,035,024	9,369,208
資産除去債務	90,474	104,141
その他	154,884	133,568
固定負債合計	8,830,382	10,006,918
負債合計	57,174,382	48,966,845

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,095,874	3,095,874
資本剰余金	3,095,543	3,095,543
利益剰余金	21,677,159	20,196,917
自己株式	△3,524,170	△1,708,570
株主資本合計	24,344,406	24,679,764
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	41,043	△126,740
その他有価証券評価差額金	△170	103,789
その他の包括利益累計額合計	40,872	△22,950
非支配株主持分	1,239,382	1,247,980
純資産合計	25,624,662	25,904,794
負債純資産合計	82,799,045	74,871,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	12,136,093	11,028,033
売上原価	1,469,596	1,668,785
売上総利益	10,666,496	9,359,247
販売費及び一般管理費	2,403,863	2,809,026
営業利益	8,262,633	6,550,220
営業外収益		
受取利息	392,336	158,408
為替差益	35,364	—
不動産賃貸料	27,512	165,587
持分法による投資利益	211,638	171,361
その他	15,758	119,069
営業外収益合計	682,610	614,426
営業外費用		
支払利息	137,373	346,469
為替差損	—	150,572
支払手数料	338,591	364,608
不動産賃貸費用	1,067	13,999
その他	4,022	26,664
営業外費用合計	481,054	902,313
経常利益	8,464,189	6,262,334
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産売却損	263	—
固定資産除却損	2,879	168
関係会社株式評価損	1,039	11,595
関係会社出資金評価損	204	—
特別損失合計	4,386	11,763
税金等調整前四半期純利益	8,459,806	6,250,570
法人税、住民税及び事業税	1,435,136	2,602,415
法人税等調整額	1,165,287	△780,269
法人税等合計	2,600,423	1,822,145
四半期純利益	5,859,382	4,428,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,644	73,023
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,843,738	4,355,400

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	5,859,382	4,428,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	103,960
為替換算調整勘定	78,178	△211,239
持分法適用会社に対する持分相当額	35,559	△20,970
その他の包括利益合計	113,570	△128,249
四半期包括利益	5,972,952	4,300,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,953,957	4,291,577
非支配株主に係る四半期包括利益	18,995	8,597

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,459,806	6,250,570
減価償却費	53,656	55,516
のれん償却額	56,055	78,262
開業費償却額	20,463	—
支払手数料	338,591	364,608
関係会社株式評価損	1,039	11,595
固定資産除却損	2,879	168
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△85,885	△101,284
受取利息	△392,336	△159,560
支払利息	137,373	346,469
為替差損益 (△は益)	225,080	△544,170
持分法による投資損益 (△は益)	△211,638	△171,361
売上債権の増減額 (△は増加)	△58,180	△128,449
商品出資金の増減額 (△は増加)	35,780,989	△3,277,756
金銭の信託 (組成用航空機) の増減額 (△は増加)	△5,244,201	14,265,651
組成用コンテナの増減額 (△は増加)	—	25,306
組成用不動産の増減額 (△は増加)	△5,439,846	1,744,201
差入保証金の増減額 (△は増加)	1,419,074	△836,555
受入保証金の増減額 (△は減少)	△1,330,609	541,904
仕入債務の増減額 (△は減少)	95,712	△747,430
前受金の増減額 (△は減少)	△7,041,609	370,872
その他	148,863	△550,020
小計	26,935,278	17,538,536
利息及び配当金の受取額	507,968	327,681
利息の支払額	△122,371	△349,777
法人税等の支払額	△2,259,331	△1,352,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,061,544	16,163,956
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,455	△28,083
有形固定資産の売却による収入	15	—
無形固定資産の取得による支出	△18,144	△16,676
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	136,649	—
関係会社株式の取得による支出	△66,660	△146,593
子会社の清算による収入	27,688	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,109	△610
敷金及び保証金の回収による収入	1,583	295
その他の収入	13,181	5,558
その他の支出	△16,626	△26,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,123	△212,951

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主からの払込みによる収入	657,649	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,558,243	△12,519,288
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△4,000,000	1,000,000
長期借入れによる収入	6,350,000	4,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,123,046	△1,874,996
社債の償還による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△3,193,399	△4,127,354
手数料の支払額	△315,618	△346,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,332,657	△13,918,554
現金及び現金同等物に係る換算差額	△204,463	△303,922
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,572,546	1,728,527
現金及び現金同等物の期首残高	8,671,729	12,602,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,244,275	14,331,291

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の消却

当社は、平成29年10月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を決議し、次のとおり実施いたしました。この結果、資本剰余金が51,180千円及び利益剰余金が1,708,288千円並びに自己株式が1,759,468千円減少しております。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 消却した株式の総数 | 2,250,000株 |
| ③ 消却した株式の総額 | 1,759,468千円 |
| ④ 消却後の発行済株式総数 | 92,373,600株 |
| ⑤ 消却実施日 | 平成29年11月10日 |

自己株式の処分

当社は、平成30年1月19日開催の取締役会において、当社及び当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を決議し、次のとおり実施いたしました。この結果、資本剰余金が51,180千円増加し、自己株式が56,130千円減少しております。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 処分した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 処分した株式の総数 | 71,780株 |
| ③ 払込金額 | 1株につき1,495円 |
| ④ 払込金額の総額 | 107,311,100円 |
| ⑤ 払込期日 | 平成30年3月20日 |

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が3,095,543千円、利益剰余金が20,196,917千円、自己株式が1,708,570千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	F P G	F P G証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,525,478	117,577	11,643,056	493,037	12,136,093	—	12,136,093
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,860	1,000	7,860	174,112	181,972	△181,972	—
計	11,532,338	118,577	11,650,916	667,149	12,318,065	△181,972	12,136,093
セグメント利益又は損失(△)	8,500,161	△24,511	8,475,649	106,833	8,582,483	△118,293	8,464,189

- (注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
 2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。
 3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G信託」、「F P G AMENTUM」及び「F P G RAFFLES」セグメントであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	F P G	F P G証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,994,390	102,445	10,096,835	931,197	11,028,033	—	11,028,033
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,530	450	4,980	120,869	125,849	△125,849	—
計	9,998,920	102,895	10,101,815	1,052,066	11,153,882	△125,849	11,028,033
セグメント利益又は損失(△)	5,950,464	△46,206	5,904,257	320,561	6,224,819	37,514	6,262,334

- (注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
 2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。
 3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G信託」、「F P G AMENTUM」及び「F P G RAFFLES」セグメントであります。